

全日本ロードレース選手権第2戦 筑波大会 JSB1000クラス

開催日：2008年5月11日(日)
会場：筑波サーキット(2.070km)
観客：15,800人
天候：曇り 気温：13度
コース：ドライ 周回数：30周
P P：手島 雄介(ホンダ/1分01秒150)
F L：秋吉 耕佑(スズキ/56秒477)



開幕2連勝と好調な中須賀選手



13位でゴールした佐藤選手

応援団と中須賀選手



YZF-R1の中須賀が開幕2連勝

「YSP&PRESTOレーシング」の中須賀克行が開幕2連勝を飾った。予選総合4番手/2列目スタートの中須賀は、良好なクラッチミートにより第1コーナーへトップで進入するスタート。そのままペースを上げ1周目に2番手の手島雄介(ホンダ)に約0.7秒差をつける。中須賀はその後もペースを緩めず首位を走行。4周目、2番手に上がってきたのが秋吉耕佑(スズキ)で、中須賀を上回るペースで周回。続く6周目に順位は入れ替わり秋吉がトップに。その後中須賀は秋吉の後をピタリとマークし騎討ちの様相。15周目の第1コーナーで中須賀が再び首位に浮上すると18周目には秋吉がトップを奪い返すトップ争い。終盤、中須賀は26周目の第1コーナー進入で

秋吉のインをさして首位に立つと、そのままペースを上げ30周をトップでゴールした。また「ワイズギアレーシング」の佐藤裕児は、予選15番手からスタート、13位でレースを終えた。

中須賀克行選手談(優勝)：「開幕2連勝は最高です。今回履いたタイヤは暖まりが早いので、スタートを決めることができれば、いい展開に持ち込めるといった。今日のテーマは、スタートダッシュして自分のペースでレースをすること。でも序盤で秋吉さんに迫られ、第2ヘアピンで僕がミスペースを崩したこともあり、秋吉さんに前に出してもらってペースを取り戻す作戦にした。終盤にも秋吉さんに前に

出してもらったけれど、そのときは秋吉さんのマシンが走っていないで、タイヤも厳しい様子が分かった。そこでラスト5周で勝負を仕掛けた。うまく行って満足」

横山勝実テクニカルディレクター談(YSP & PRESTOレーシング)談：「天候不順でスタート直前まで路面コンディションに悩まされました。もちろん、ドライでもウエットでもいける準備はしていましたが、ライダーが本当に頑張ってくれました。開幕2連勝で、チームとしての士気も上がっているし、次戦のオートボリスは中須賀選手の地元、さらにチーム一丸となって頑張りたいですね」

佐藤裕児選手談(13位)：「昨年のST600では、ここ筑波を攻めることができたがJSB1000では詰めきれなかった。自分をもっと強くするのが今の課題。でもレースウィーク中の天候急変は貴重な経験となった」

決勝結果

順位	ライダー	チーム	マシン	タイム
1	中須賀 克行	YSP&PRESTOレーシング	Yamaha	28'40.326
2	秋吉 耕佑	ヨシムラスズキwithJOMO	Suzuki	28'41.287
3	手島 雄介	DREAM HondaRT48	Honda	28'42.927
4	酒井 大作	ヨシムラスズキwithデンソー	Suzuki	28'43.574
5	山口 辰也	モリワキMOTULレーシング	Honda	28'45.200
6	伊藤 真一	KEIHINKoharaR.T.	Honda	28'46.921
8	大崎 誠之	SP忠男レーシングチーム	Yamaha	28'51.066
9	横江 竜司	RT森のくまさん佐藤塾	Yamaha	29'02.389
13	佐藤 裕児	ワイズギアレーシング	Yamaha	29'21.747

ポイントランキング

1	中須賀 克行	Yamaha	50
2	酒井 大作	Suzuki	40
3	山口 辰也	Honda	36
4	手島 雄介	Honda	33
5	柳川 明	Kawasaki	30
6	大崎 誠之	Yamaha	28
7	横江 竜司	Yamaha	26
14	佐藤 裕児	Yamaha	15

次戦は5月25日(日)の第3戦オートボリス大会です。